

独 教 事 第 29 号
令和4年4月28日

各都道府県教育委員会教育長
各指定都市教育委員会教育長 殿
各中核市教育委員会教育長

独立行政法人教職員支援機構
理事長 荒瀬 克己
(公印省略)

令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業の実施について（依頼）

平素より、教職員支援機構の事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、令和4年度の標記事業につきましては、別添実施要項のとおり実施いたします。

ついては、各都道府県教育委員会（域内の中核市教育委員会の推薦取りまとめを含む。）及び各指定都市教育委員会におかれましては、研修情報登録システムにより、令和4年6月22日（水）までに、それぞれ受講者の推薦をお願いします。なお、各中核市教育委員会におかれましては、様式1「推薦名簿」により、各都道府県教育委員会を通じて推薦をお願いします。

実施要項等は、当機構 Web ページ (<https://www.nits.go.jp/training/003/001.html>) よりダウンロード可能となっております。

本事業の目的は、各学校・地域における研修の講師等としての活動や、各学校への指導・助言等を受講者が行うことです。各都道府県教育委員会及び各指定都市教育委員会におかれましては、事業の目的を御理解の上、適切な方を御推薦いただくとともに、受講者の成果活用に御配慮いただきますよう、よろしくお願いします。

また、新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、事業内容が変更となる場合がございますので、あらかじめ御了承ください。

— 問合せ先 —

独立行政法人教職員支援機構
事業部事業企画課連携推進チーム（中山、相澤）
〒305-0802
つくば市立原3番地
TEL:029-879-6632, 6631 FAX:029-879-6645
E-mail:sangyou@ml.nits.go.jp

令和 4 年度産業・情報技術等指導者養成事業 実施要項

1 目 的

本事業は、学校における実習等の授業の質の向上を図るため、急速に発展・進歩する産業技術、情報技術等について、情報化・技術革新その他社会情勢の変化に適切に対応した最新の知識・技術を習得させ、受講者が各地域で行われる研修の講師等や各学校への指導・助言等を行うことを目的としている。

2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

3 共 催 文部科学省、教育関係団体・大学等（[別添 2]のとおり）

4 期間、会場、定員、教科、内容等

[別添 2]のとおり

5 受講者

(1) 受講資格

①各都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者

②高等学校、中等教育学校又は中学校等（特別支援学校の高等部、中等部を含む）で産業教育を担当する教諭等

(2) 推薦人数

受講定員は、[別添 2]のとおりとする。ただし、定員を超える推薦があった場合でも受講が可能な場合があるので、積極的な推薦を行うよう努めること。

(3) 推薦手続

推薦期限は、令和 4 年 6 月 22 日（水）とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式 1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

私立学校においては、都道府県知事部局に連絡し、都道府県知事部局が、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

国公立大学法人については、担当部局が取りまとめの上、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

(4) 受講者の決定

各都道府県、指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。定員を大幅に超過する場合は、受講者数を調整する場合がある。

6 経 費

本事業に係る経費については、受講者一人当たり[別添 2]に定める「受講費限度

額」の範囲内において派遣者または受講者が負担するものとする。

「受講費」の支払額及び支払い方法については、受講者の決定通知後(例年、研修実施後、約 2～3 か月目処)、教職員支援機構より別途通知する。

※詳細は、[様式 1]「推薦名簿」の「記入上の注意」(注 6)を参照のこと。

7 その他

推薦者は、修了者に対し、受講の成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

令和4年度 産業・情報技術等指導者養成事業

教科 (研修分野)	講習 番号	定員	実施期間	主な実施場所	研修テーマ	研修内容	実施団体	受講費 限度額
高等学校	農業	A-1	R4年度は実施しません					
	工業	B-1	20 〈遠隔〉 令和4年8月23日(火)～25日(木)、 8月30日(火)、31日(水) 〈課題作成期間〉8月26日(金)、 29日(月)	オンラインによる実施	教科「工業」における授業改善に関する講義と演習 ～工業科におけるPBL実践法～	高等学校学習指導要領の教科「工業」の各科目について、生徒が課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶような授業の改善にむけて、講義や演習を通して、指導力を高めることを目指した研修	学校法人 金沢工業大学	41,600
	商業	C-1	40 令和4年8月1日(月) ～8月5日(金)	大阪芸術大学 (大阪府南河内郡)	教科「商業」における「指導と評価の 一体化」のための学習評価の在り 方に関する講義と実習	学習評価の実践事例、教科「商業」の指導内容・指導方法及び商業教育 の充実に関するディスカッションなどを通して、指導力を高めることを目指 した研修	学校法人塚本学院 大阪芸術大学	26,200
	水産	D-1	15 令和4年8月22日(月) ～8月26日(金)	愛知県立三谷水産高等学校 (愛知県蒲郡市)	科目「海洋情報技術」の指導と水産 におけるICT活用の実践研修	教科情報の代替として設置する際に必要となるプログラミング指導におけ る知識と技術に関する研修および水産におけるICT活用の実践的な研修 ※なお、受講生は個人用パソコンを持参する場合、事前にスペック等を確認 しておくこと。	海文堂出版株式会社	66,600
	家庭	E-1	20 令和4年8月8日(月) ～8月10日(水)	全国高等学校長協会家庭部会 事務局 (東京都千代田区)	社会の変化に対応した衣食住、 ヒューマンサービス等の生活産業に 関する講義と実習	衣食住、保育などのヒューマンサービスに関わる生活産業の最新情報や 消費者教育の推進に向けた講義、実習などを通して、家庭科の指導力を 高めることを目指した研修 ※なお、受講者には、年間指導計画(指導と評価の計画)及び学習指導 案等の事前課題提出を求める場合がある。	全国高等学校長協会 家庭部会	19,000
	看護	F-1	20 令和4年8月3日(水) ～8月5日(金)	オンラインによる実施	高等学校看護科における教育を充 実するための講義と演習	教科「看護」の指導内容・指導方法に関する講義や、学習指導計画・学習 評価に関する演習を通して、看護科指導力を高めることを目指した研修 ※受講生は、学習指導・生徒指導に関する事前課題を提出すること。	国立大学法人 弘前大学	24,500
	情報	G-1	20 令和4年8月3日(水) ～8月5日(金)	大阪芸術大学 (大阪府南河内郡)	教科「情報」における主体的・対話 的で深い学びの実現に関する講義 と演習	教科「情報」における主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に 向けた実践的な講義と演習を通して指導力の向上を目指した研修	学校法人塚本学院 大阪芸術大学	42,000
	福祉	H-1	30 令和4年8月17日(水) ～8月19日(金)	仙台大学附属明成高等学 校(宮城県仙台市)	実践的介護の知識及び技能の向上 を図るための講習(教員介護知識技 能講習)	ICT活用や介護ロボットを取り入れた福祉教育の在り方及び介護過程の 展開に関する指導力の向上を図るとともに、コミュニケーション演習により コミュニケーションスキルの向上を図ることを目指し、また地域や産業界と の連携の実際により、多角的な福祉人材育成に繋げる研修	全国福祉高等学校長会	32,500
中学校	技術・ 家庭 (技術)	I-1	20 令和4年7月25日(月) ～7月29日(金)	オンラインによる実施	技術によってよりよい生活や持続可 能な社会を構築する資質・能力の育 成を目指した技術分野の指導と評 価	材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報等のテクノロジーについて 理解させるとともに、これらを用いて社会における問題を解決できる資質・ 能力を育成するための指導と、学習評価に関する研修	国立大学法人 宮城教育大学	56,800
	技術・ 家庭 (家庭)	J-1	20 令和4年8月4日(木) ～8月5日(金)	埼玉大学 (埼玉県さいたま市)	技術・家庭(家庭分野)指導者養成 研修「家庭科を広げる・深める」	新学習指導要領を踏まえた幼児・高齢者理解、被服における講義、実験・ 実習などを通して、幼児・高齢者との関わり方、被服に関する知識及び技 能の習得を目指した研修(ただし、コロナ禍のため幼児・高齢者との触れ 合い体験実習は実施できない場合あり) ※なお、受講生は指導計画や実践に関する事前課題を提出すること。	国立大学法人 埼玉大学	33,900

(別添 3)

日 程 表

〔 高 等 学 校 〕			
【 工 業	：	B	－ 1 】
【 商 業	：	C	－ 1 】
【 水 産	：	D	－ 1 】
【 家 庭	：	E	－ 1 】
【 看 護	：	F	－ 1 】
【 情 報	：	G	－ 1 】
【 福 祉	：	H	－ 1 】
〔 中 学 校 〕			
【 技 術	：	I	－ 1 】
【 家 庭	：	J	－ 1 】

※ 添付した各教科の日程表については、4月28日現在のものであり、今後変更になる場合もあります。

(別紙様式1)

令和 4 年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(工業：B－1)

団体名 金沢工業大学

時 限	1 時限 8:40～10:20		休 憩	2 時限 10:35～12:15	昼 休 み	3 時限 13:15～14:55	休 憩	4 時限 15:10～16:50	自主活動時間 17:05～ 18:00
8 月 23 日 (火)	開講式 オリエン テーション 約 20 分	(講義) 新しい時代の学習 環境と学ぶ力	休 憩	(講義) PBL 概論	昼 休 み	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅰ① プロジェクトテーマの決定まで の調査・分析・意思決定	休 憩	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅰ② プロジェクトテーマの決定までの 調査・分析・意思決定	質疑応答
8 月 24 日 (水)	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅰ③ プロジェクトテーマの決定までの 調査・分析・意思決定		休 憩	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅰ④ インタビュー	昼 休 み	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅰ⑤ プロジェクトテーマの決定までの 調査・分析・意思決定	休 憩	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅰ⑥ プロジェクト活動計画の策定	質疑応答
8 月 25 日 (木)	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅰ⑦ 活動および活動計画の発表		休 憩	(講義) 科学技術者倫理	昼 休 み	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅱ① 授業計画、大学授業例紹介	休 憩	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅱ② 授業計画	質疑応答
8 月 30 日 (火)	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅱ③ 授業計画発表会		休 憩	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅱ④ 授業計画発表会	昼 休 み	(講義・演習) ループリック作成演習	休 憩	(講義・演習) ループリック作成演習	質疑応答
8 月 31 日 (水)	(講義・演習) ループリック作成演習		休 憩	(講義・演習) ループリック作成演習	昼 休 み	(講義) 教科「工業」に関する 文部科学省施策の動向(仮題)	休 憩	(講義・演習) 教育事例 全体リフレクション	閉講式 16:30～ 17:00

実施会場：オンラインによる実施

(別添1)

令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(商業:C-1)

9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00										
		1限			休		2限			昼休み		3限		休		4限			休		5限							
8月1日 (月)				受 付 9:30～		開講式 10:00～ 13号館2F 13-208 大講義教室				専門教科「商業」における「指導と 評価の一体化」のための 学習評価の在り方 文部科学省初等中等教育局参事官 (高等学校担当) 付産業教育振興室 教科調査官 田中 圭 13号館3F13-208講義教室			昼休み			新学習指導要領を踏まえた マーケティング分野の学習評価の在り方(1) ー学習評価の進め方ー 富山県教育委員会県立学校課 指導主事 山科 博子 9号館5 F コンピュータ教室				新学習指導要領を踏まえた マーケティング分野の学習評価の在り方(2) ー学習評価の実践事例ー 富山県教育委員会県立学校課 指導主事 山科 博子 9号館5 F コンピュータ教室					振り返り～ グループ ワーク～ 9号館5 F コン ピュータ教室			
8月2日 (火)		先進校から学ぶ 地域との協働による高 等学校教育改革推進事 業成果報告 京都府立 京都すばる高等学校 13号館3F 13-208講義教室		先進校から学ぶ スーパー・プロフェッショナ ル・ハイスクール 事業成果報告 滋賀県立 八幡商業高等学校 13号館3F 13-208講義教室		専門家から学ぶ ～これからの会計教育～(仮題) 日本商業教育振興会代表理事 (公認会計士) 小島 一富士 13号館3F 13-208講義教室				新学習指導要領を踏まえた ビジネス情報分野の学習評価の在り方(1) ー学習評価の進め方ー 太田市立太田高等学校 教頭 石関 英樹 9号館5 F コンピュータ教室								新学習指導要領を踏まえた ビジネス情報分野の学習評価の在り方(2) ー学習評価の実践事例ー 太田市立太田高等学校 教頭 石関 英樹 9号館5 F コンピュータ教室					振り返り～ グループ ワーク～ 9号館5 F コン ピュータ教室					
8月3日 (水)		新学習指導要領を踏まえた 授業改善を進めるために(1) 千葉商科大学 准教授 近藤 真唯 客員講師 並木 通男 13号館3F13-208講義教室				新学習指導要領を踏まえた 授業改善を進めるために(2) 千葉商科大学 准教授 近藤 真唯 客員講師 並木 通男 13号館3F13-208講義教室				新学習指導要領を踏まえた マネジメント分野の学習評価の在り方(1) ー学習評価の進め方ー 東京都立第五商業高等学校 主任教諭 会津 拓也 9号館5 F コンピュータ教室								新学習指導要領を踏まえた マネジメント分野の学習評価の在り方(2) ー学習評価の実践事例ー 東京都立第五商業高等学校 主任教諭 会津 拓也 9号館5 F コンピュータ教室					振り返り～ グループ ワーク～ 9号館5 F コン ピュータ教室					
8月4日 (木)		新学習指導要領を踏まえた 分野共通の科目の学習評価の在り方(1) ー学習評価の進め方ー 宮崎産業経営大学社会科学研究所 教授 笠木 秀樹 9号館5 F コンピュータ教室				新学習指導要領を踏まえた 分野共通の科目の学習評価の在り方(2) ー学習評価の実践事例ー 宮崎産業経営大学社会科学研究所 教授 笠木 秀樹 9号館5 F コンピュータ教室				企業から学ぶ ー企業探究ー 事業所見学先 (未定) 13号館3F 13-208講義教室								企業から学ぶ ー企業探究ー 事業所見学先 (未定) 13号館3F 13-208講義教室					振り返り～ グループ ワーク～ 9号館5 F コン ピュータ教室					
8月5日 (金)		新学習指導要領を踏まえた 会計分野の学習評価の在り方(1) ー学習評価の進め方ー 関西学院大学商学部 助教 西嶋 達人 9号館5 F コンピュータ教室				新学習指導要領を踏まえた 会計分野の学習評価の在り方(2) ー学習評価の実践事例ー 関西学院大学商学部 助教 西嶋 達人 9号館5 F コンピュータ教室				高等学校学習指導要領改訂と 商業教育 文部科学省初等中等教育局参事官 (高等学校担当) 付産業教育振興室 教科調査官 田中 圭 13号館3F 13-208講義教室								閉 講 式 13号館2F 13-208 大講義教室										

実施会場：大阪芸術大学 本校（大阪府南河内郡）

(別紙様式1)

令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(水産：D-1)

団体名 海文堂出版

日 時	8:45	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:15		
8月22日 (月)					受付	開講式	14:00～15:00 講義 海洋情報技術について(仮題) 文部科学省 西澤調査官	休憩	15:15～16:00 講義 コンピュータの 歴史と情報教育	休憩	16:15～17:15 講義 情報表現方法の 理解と指導法①
8月23日 (火)	8:45～10:15 講義 情報表現方法の 理解と指導法②	休憩	10:30～12:00 講義 論理回路と論理演算	昼食	13:00～14:30 講義 プログラム言語と プログラミング的思考力	休憩	14:45～16:15 実習 プログラムの流れと フローチャート	休憩	16:30～17:15 実習 プログラミング 実習教材の作成		
8月24日 (水)	8:45～10:15 実習 プログラミングの基礎①	休憩	10:30～12:00 実習 プログラミングの基礎②	昼食	13:00～14:30 実習 画像処理プログラミング①	休憩	14:45～16:15 実習 画像処理プログラミング②	休憩	16:30～17:15 実習 プログラミング 課題演習		
8月25日 (木)	8:45～10:15 実習 モデル化と シミュレーション	休憩	10:30～12:00 講義 情報通信ネットワーク とIP通信の仕組み	昼食	13:00～15:30 実習 ネットワーク構築演習			休憩	15:45～17:15 協議 学習指導案の作成と 授業展開について		
8月26日 (金)	8:45～10:15 講義 マルチコプターの 活用事例	休憩	10:30～12:00 見学 三谷水産高校 施設見学	閉講式							
日 時	8:45	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:15		

実施会場：愛知県立三谷水産高等学校（愛知県・蒲郡市）

(別紙様式1)

令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(家庭：E-1)

全国高等学校長協会家庭部会

	月日	午前1（9時30分～11時）		休憩	午前2（11時10分～12時40分）		昼食 休憩	午後1（13時30分～15時）			休憩	午後2（15時10分～16時40分）		実施 会場
	（曜）	9:30	10:00		11:10	12:40		13:30	15:10	16:40				
1	8月8日 （月）	【開 講 式 】	【講義】 「家庭科における授業改善の 視点」 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 山村 季代		【講義】 「家庭科の学びを深める地域との連携・ 共生の在り方」（仮） 岩手県立花北青雲高等学校 前校長 太田 優子			【講義】授業実践事例 「問題解決的な学習」（仮） 群馬県立館林女子高等学校 教諭 渡邊 邦子			【講義】 「成年年齢の引下げと消費者トラブル」 （仮） 法政大学大学院政策創造研究科 准教授 （公財）消費者教育支援センター 首席主任研究員 柿野 成美		全国 高等 学校 長協会 （千代田区） 家庭部 会事務 局会議 室	
2	8月9日 （火）	【講義】 「食育リーフレット『自分の食事を自分で デザインしよう！』を活用した食育」 東京栄養食糧専門学校 校長 渡邊 智子			【講義】 「最新の栄養計算のポイント」 東京栄養食糧専門学校 校長 渡邊 智子			【実習・講義】 「調理実習指導のポイント（魚のおろし方とだし）」 「調理実習評価のポイント」 東京栄養食糧専門学校 教務部長 金澤 敏文					学 校 法 人 食 糧 学 院 （世田谷区） 東京 栄 養 食 糧 専 門 学 校	
3	8月10日 （水）	【講義】 「子育て支援」（仮） 田園調布学園大学 子ども未来学部 教授 内藤 知美			【講義】 「高齢期の衣食住生活の質の向上」（仮） 大正大学 社会共生学部 社会福祉学科 教授 宮崎 牧子			【まとめ・研究協議】 「研修のまとめ」 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 山村 季代	14:30 アンケート記入	14:45 【閉 講 式 】	15:00		全 国 高 等 学 校 長 協 会 （千代田区） 家庭部 会事務 局会議 室	

実施会場：全国高等学校長協会家庭部会事務局、学校法人食糧学院東京栄養食糧専門学校

(別紙様式 1)

令和 4 年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(看護：F－1)

団体名 弘前大学大学院保健学研究科

日 時	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
8月3日 (水)		(30) 受 付	(30) 開 講 式	(120) 10:00-12:00 (講義) 看護科教育の目標及び 内容			(60) 昼休み		(70) 13:00-14:10 (講義) 授業設計の 概要		10 休 憩	(70) 14:20-15:30 (講義) 情報機器 及び教材 の活用法		10 休 憩	(70) 15:40-16:50 (講義) 学習指導 案の作成			
8月4日 (木)		(90) 9:00-10:30 (講義) 教育の理念並び に教育に関する 歴史及び思想			10 休 憩	(90) 10:40-12:10 (講義) 教職の意義及 び教員の役割 ・職務内容		(60) 昼休み		(180) 13:10-16:10 (講義・演習) 生徒指導の理論及び方法					10 休 憩	(60) 16:20-17:20 (講義) 高等学校 看護科の 現状		
8月5日 (金)		(180) 9:00-12:00 (演習) より良い学習指導案作成にむけて						(30) 閉 講 式										

実施会場： オンライン会場 (Zoom)

(別紙様式1)

令和 4 年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(情報：G-1)

団体名 大阪芸術大学

日 時		9:00 9:30 10:00 10:30 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00											
8月3日(水)		受付	開講式 13号館 13-208 大講義 教室	新学習指導要領における 「情報」の学習指導と学 習評価(講義) (文部科学省 13号館 2F 13-208 大講義教室	昼 休 み	「プログラミング」を中心とした 情報システム分野における指導の 工夫/充実(講義・演習) (奈良女子大学 竹中章勝) 9号館 5F コンピュータ教室							
8月4日(木)		「情報デザイン」を中心としたコ ンテンツ分野における指導の工夫/ 充実(講義・演習) (奈良女子大学 竹中章勝) 9号館 5F コンピュータ教室			昼 休 み	学習科学の視点で考える主体的・対話 的で深い学びの実現(講義・演習) (聖心女子大学 益川弘如) 13号館 2F 13-208 大講義教室							
8月5日(金)		データサイエンス・A I の視点で 問題解決を取り入れた指導の工夫/ 充実(講義・演習) (順天堂大学 大橋真也) 9号館 5F コンピュータ教室			昼 休 み	教科「情報」 における情報 セキュリティ の指導(講義) (株式会社ア ールジェイ 石田淳一) 13号館 2F 13-208 大講義教室	教科「情報」 の指導の充実 (協議) (京都精華大 学 鹿野利春) 13号館 2F 13-208 大講義 教室	閉 講 式 13号 館 13- 208 大講 義教 室					

実施会場：大阪芸術大学 本校(大阪府南河内郡)

(別紙様式 1)

令和 4 年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(福祉：H－1)

団体名 全国福祉高等学校長会

日 時	9:00	10:00	10:40	12:10	13:00	14:40	15:30	16:10	17:00
8月17日 (水)		開 講 式、 諸 連 絡	講義 1 高校生の学びを深める取り組み ～高大連携～ 講師：紋谷洋三 (仙台大学)	昼 休 み	講義 2－1 介護福祉士養成に関する動向 講師：鈴木 真智子 介護福祉専門官 (厚生労働省) 講義 2－2 高校における介護福祉士養成について 講師：矢幅清司 視学官 (文部科学省)	講義 3 (見学) 最新の施設見学と活用例 介護実習室に配置している機器類、 介護ロボット等の紹介 講師：堀江竜弥・福田伸雄 (仙台大学)			
8月18日 (木)	講義 4 スマート介護① (ICT/介護ロボット) 講師：堀江竜弥 (仙台大学)		講義 5 スマート介護② (ICTを活用した授業) 講師：福田伸雄 (仙台大学)	昼 休 み	講義 6 認知症支援 (VR活用) 講師：福田伸雄・堀江竜弥 (仙台大学) 代案⇒スマート介護に関する討議	講義 7 健康づくり運動 講師：田中亨 (仙台大学) 代案⇒スマート介護に関する討議			
8月19日 (金)	講義 8 介護過程の教授法① 講師：後藤満枝 (仙台大学)		講義 9 介護過程の教授法② 講師：後藤満枝 (仙台大学)	昼 休 み	講義 10 地域ボランティア活動の実際 講師：小池和幸/大山さく子 (仙台大学) 代案⇒介護過程に関する討議	講 評 矢 幅 清 司 視 学 官 (文 部 科 学 省) 閉 講 式	※代案はオンライン開催の場合		

実施会場：仙台大学附属明成高校（宮城県仙台市青葉区）

(別紙様式 1)

令和 4 年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(技術・家庭(技術) : I - 1)

団体名 国立大学法人 宮城教育大学

日 時	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
7 月 25 日 (月)	受付 9:00-	開講式 (オリ エンテ ーショ ン) 9:30- 9:50	(講義) 新学習指導要領における 技術分野の指導 10:00-12:00	昼休み	(講義) 生物育成分野の目的・作物栽培 技術の基礎 13:10-15:10	(講義/実習) 作物管理実習を通じた作物成長 の原理・法則の理解 15:20-17:20			
7 月 26 日 (火)	(講義/演習) 技術分野の学習評価 9:00-10:30		(講義/演習) 電気エネルギー活用 のための原理と法則 10:40-12:10	昼休み	(講義/実演) 材料加工技術の原理・法則と活 用 2 : 2D デジタル加工技術の活 用 13:10-15:10	(講義/実習) 生活を支える電気エネルギー技 術の活用 1 15:20-17:20			
7 月 27 日 (水)	(講義/実習) 生活を支える電気エネ ルギー技術の活用 2 9:00-10:30		(講義/演習) 情報の技術の授業 設計 10:40-12:10	昼休み	(講義/演習) 双方向性のあるコンテンツのプログラ ミング 13:10-15:10/15:20-16:20	(講義/演習) 計測・制御のプログラ ミング 16:30-17:30			
7 月 28 日 (木)	(講義/演習) 生活や社会を支える情 報技術(情報モラル) 9:00-10:30		(講義/演習) 生活や社会を支える 情報技術(サイバー セキュリティ) 10:40-12:10	昼休み	(講義/演習) エネルギー変換の技術(機械)におけ る授業設計 13:10-15:10	(講義/演習) STEAM 教育の観点から考えるエ ネルギー変換の技術(機械)の 授業 15:20-17:20			
7 月 29 日 (金)	(講義/実習) 課題解決型の制御学習 1 9:00-10:30/10:40-12:10			昼休み	(講義/実習) 課題解決型の制御学習 2 13:10-14:40/14:50-15:50	閉講式 (諸連絡) 16:00- 16:20			

実施会場：宮城教育大学（宮城県仙台市）

(別紙様式1)

令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(技術・家庭(家庭):J-1)

団体名 : 埼玉大学

日 時	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
8月4日 (木)		9:00 開講式 9:05 オリ ン テー ショ ン	休 憩 十 分	9:25-10:45 (80分) (講義)「新学習指導要領に おける家庭分野の指導と評 価」 (担当)熊谷有紀子(文部科 学省初等中等教育局教科調 査官)	休 憩 十 五 分	11:00-12:00 (60分) (講義)「3年間を見通し た全体的な指導計画」 (担当)熊谷有紀子(文部 科学省初等中等教育局 教科調査官)	昼 食		13:00～14:20 (80分) (講義)「食育における食品 安全性」 (担当) 山本和貴(農業・食品 産業技術総合研究機構 食品 研究部門グループ長補佐)	休 憩 十 五 分		14:35～15:55 (80分) (講義・実習) 「衣生活の文化と浴衣の着 装」 (担当)大矢幸江(昭和学院短 大(非))・川端博子(埼玉大学 教授)	休 憩 十 分	16:05～ 17:05 (60 分) 情報交換会		片 付 け 十 五 分		
8月5日 (金)		9:05 諸連絡		9:15～10:35 (80分) (講義・演習)「幼児の生活と人との 関わり」 (担当)刑部育子(お茶の水女子 大学教授)・吉川はる奈(埼玉大 学教授)	休 憩 十 分	10:45～12:05(80分) (講義・演習)「住まい・住 生活と環境」 (担当)正岡さち(島根大 学教授)・亀崎美苗(埼玉 大学准教授)	昼 食		13:00～14:20 (80分) (講義・演習) 「味覚の授業」 (担当)島田玲子(埼玉大学准 教授)	休 憩 十 五 分		14:35～15:55 (80分) (ディスカッション) 「技術・家庭科(家庭分野)に おける指導の充実」 (担当)吉川はる奈(埼玉大学 教授)、川端博子(埼玉大学 教授)、島田玲子(埼玉大学 准教授、亀崎美苗(埼玉大学 准教授)	休 憩 十 分	16:05 閉講式 修了証授与 アンケート回 収、諸連絡				

実施会場:埼玉大学(埼玉県さいたま市)

令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業 推薦名簿

(様式1)

機関等名		教科名 (注5)	
------	--	-------------	--

推薦順位	フリガナ	年齢・性別等 (R5.3.31現在)		受講予定者所属先等		請求書送付先 (注6)		備考
	氏 名							
		年齢		所属名称		経費負担区分		
		性別				請求書送付先〒		
		職種		〒		請求書送付先住所		
						請求書送付先所属		
		担当教科		請求書送付先担当者				
		教職歴		請求書宛名				
		年齢		所属名称		経費負担区分		
		性別				請求書送付先〒		
		職種		〒		請求書送付先住所		
						請求書送付先所属		
		担当教科		請求書送付先担当者				
		教職歴		請求書宛名				
		年齢		所属名称		経費負担区分		
		性別				請求書送付先〒		
		職種		〒		請求書送付先住所		
						請求書送付先所属		
		担当教科		請求書送付先担当者				
		教職歴		請求書宛名				

記入上の注意

- 1 この名簿は、教職員支援機構における受講者の決定事務及び名簿作成以外での使用はいたしません。
- 2 この用紙は、各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦事務には使用しないでください。
(各都道府県・指定都市教育委員会は研修情報登録システムを使用してください。)
- 3 中核市教育委員会においては都道府県教育委員会に対する連絡に、私立学校においては都道府県知事部局に対する連絡に、それぞれ使用してください。
- 4 本様式は、教職員支援機構ホームページ(<https://www.nits.go.jp/training/003/001.html>)よりダウンロードしてください。
- 5 各教科ごとに別葉としてください。
- 6 「経費負担区分」の欄には、公費、参加者個人またはその他具体的に入力してください。
「請求書送付先」として入力された宛先に、後日(例年研修実施後2～3ヵ月目処)、教職員支援機構から請求書を送付します。
なお、経費負担区分が「参加者個人」の場合は、同左の受講者所属先住所に送付するため、記入不要です。

担当者氏名		所属郵便番号	
フリガナ		所属所在地	
所属電話番号		所属名称	
所属FAX		e-mailアドレス	

機関等名	〇〇県	教科名 (注5)	B-1
------	-----	-------------	-----

推薦順位	フリガナ	年齢・性別等 (R5.3.31現在)		受講予定者所属先等		請求書送付先 (注6)		備考
	氏 名							
1	ツクバ ヒカル	年齢	30	所属名称	〇〇高等学校	経費負担区分	参加者個人	
		性別	男			請求書送付先〒	-	
	筑波 光	職種	教諭	〒	123-4567	請求書送付先住所	-	
				所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	請求書送付先所属	-	
		担当教科	数学			請求書送付先担当者	-	
		教職歴	5	TEL	12-3456-7890	請求書宛名	-	
2	タナカ ミズキ	年齢	50	所属名称	× × 高等学校	経費負担区分	公費	
		性別	男			請求書送付先〒	234-5678	
	田中 瑞樹	職種	教諭	〒	234-5678	請求書送付先住所	〇〇県× × 市× × 町× - × - ×	
				所在地	〇〇県× × 市× × 町× - × - ×	請求書送付先所属	〇〇市立〇〇中学校	
		担当教科	美術			請求書送付先担当者	事務屋 三郎	
		教職歴	25	TEL	09-8765-4321	請求書宛名	〇〇市立〇〇中学校長	
3	ツクホ ツバサ	年齢	40	所属名称	〇〇市教育委員会〇〇部〇〇課 〇〇グループ	経費負担区分	公費	
		性別	女			請求書送付先〒	345-6789	
	筑穂 翼	職種	指導主事	〒	765-4321	請求書送付先住所	〇〇県△△市△△町△-△-△	
				所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇	請求書送付先所属	〇〇市教育委員会〇〇部〇〇課	
		担当教科	国語			請求書送付先担当者	担当者 一郎	
		教職歴	15	TEL	11-2222-3333	請求書宛名	〇〇市教育委員会教育長	

記入上の注意

- 1 この名簿は、教職員支援機構における受講者の決定事務及び名簿作成以外での使用はいたしません。

2 この用紙は、各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦事務には使用しないでください。
(各都道府県・指定都市教育委員会は研修情報登録システムを使用してください。)

3 中核市教育委員会においては都道府県教育委員会に対する連絡に、私立学校においては都道府県知事部局に対する連絡に、それぞれ使用してください。

4 本様式は、教職員支援機構ホームページ(<https://www.nits.go.jp/training/003/001.html>)よりダウンロードしてください。

5 各教科ごとに別葉としてください。

6 「経費負担区分」の欄には、公費、参加者個人またはその他具体的に入力してください。
「請求書送付先」として入力された宛先に、後日(例年研修実施後2〜3ヵ月目処)、教職員支援機構から請求書を送付します。
なお、経費負担区分が「参加者個人」の場合は同左の受講者所属先住所に送付するため、記入不要です。

担当者氏名		所属郵便番号	765-4321
フリガナ		所属所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇
所属電話番号	00-0000-0000	所属名称	〇〇県〇〇局〇〇部〇〇課
所属FAX	11-1111-1111	e-mailアドレス	xxxx@xxx.xxx.jp

「研修システム」による受講者の推薦について

1. はじめに

当機構では、「研修システム」を導入し、Web ページ (<https://www.nits.go.jp/g/education.html>) から受講者の推薦を受け付けております。研修システムの運用について、御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

また、研修システムを利用するための「アカウント発行用コード」は、研修実施の案内メールに記載しておりますので、御確認ください。

アカウント発行方法、ログイン方法等については、本資料 2～6 頁を御参照ください。詳しい操作方法については、研修システムへのログイン後、ポータル画面から操作マニュアルをダウンロードし、御一読くださいますようお願いいたします。

***今回お送りする「アカウント発行用コード」は、「令和4年度産業・情報技術等指導者養成事業」の担当者用であり、他の研修には使用しません。**

***アカウント発行前に、担当者が代わる場合は、後任の担当者へ「アカウント発行用コード」を必ず引継ぎくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。**

***アカウント発行後に、担当者が代わる場合は、後任の担当者へ「ID」及び、登録した「パスワード」を必ず引継ぎくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。**

御不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【本件問合せ先】

独立行政法人教職員支援機構

事業部事業企画課連携推進チーム 中山・相澤

〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

TEL:029-879-6632, 6631 FAX:029-879-6645

e-mail: sangyou@ml.nits.go.jp

2. 研修システムの推薦担当者アカウント発行、初回ログイン方法について

①当機構からお送りしたメールに記載してあるURLにアクセスします。

研修名：教職員等中央研修

次回ログイン時に、以下アカウント発行用コードが必要となります。

【00000000000】

以下のURLにアクセスしてアカウント発行用コードによる認証を実施してアカウントを発行してください。
https://training.nits.go.jp/#/PCreateAccount?url_cd=00000000000

②推薦担当者アカウント発行画面が表示されたら、必要な項目を入力し、「アカウント作成」をクリックします。なお、アカウント発行用コードは①の当機構からお送りしたメールに記載してあります。

推薦担当者アカウント発行画面

キーワードと大学等を入力して下さい。

研修	<input type="text"/>
都道府県	<input type="text"/> 🔍
大学等	<input type="text"/> 🔍
ID	<input type="text"/>
アカウント発行用コード	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>

アカウント作成

③アカウント作成後、「推薦担当者登録」画面が表示されたら、必要な項目を入力し、「登録」をクリックします。なお、メールアドレスは、御所属先のドメイン（@XXXX.ac.jp等）のものを御登録ください。

推薦担当者登録

研修名	2022年度_マニュアル用	推薦機関名	北海道
ID	P202266h8RT7Z		

備考、メールアドレス2、メールアドレス3以外は必須項目です。

担当者氏名	マニュアル用推薦担当者		
フリガナ	タントウシャ タロウ		
所属	郵便番号	123	
	所在地	△△市△△町△-△△ビル△階	
	名称	△△△△教育委員会 △△課	
	電話番号	01-2345-6789(1234)	
	備考(電話番号用)	内線番号、宛て等	
	FAX番号	01-2345-6789	
メールアドレス1	xxxx@xxxx.co.jp		
メールアドレス2	xxxx@xxxx.co.jp		
メールアドレス3	xxxx@xxxx.co.jp		
旧パスワード	<input type="password"/>	旧(初期)パスワード	
新パスワード	<input type="password"/>	新パスワードを	
新パスワード(確認入力)	<input type="password"/>	決めて入力	

パスワードは、数字と英字まじりの8～30文字を設定してください。

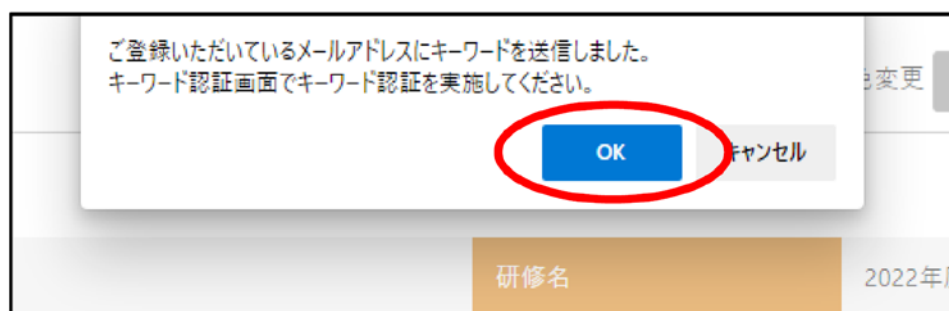
登録 **戻る**

※登録するパスワードは、忘れないようにメモするなどの管理をお願いします。

④下図の確認ダイアログが表示されるので、「OK」をクリックします。



⑤下図の確認ダイアログが表示されると、入力したメールアドレス宛にメールが送信されるので確認してください。メール確認後、「OK」をクリックします。



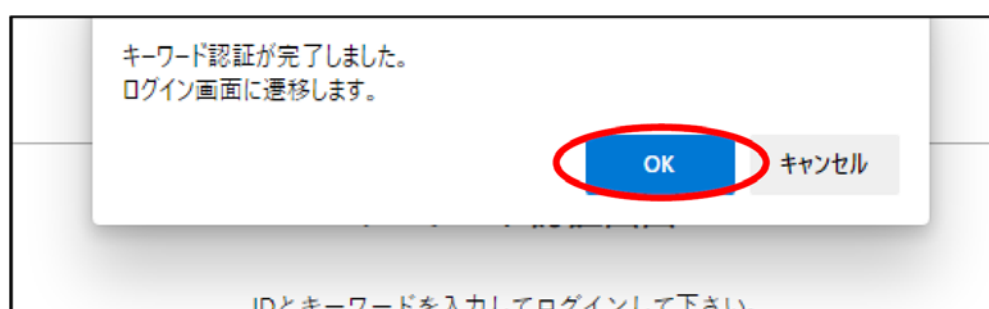
⑥キーワード認証画面が表示されます。メールに記載のキーワードを入力して、「認証」をクリックします。

※この画面は入力途中で閉じないでください。

※一定時間経ってもメールが届かない場合は、「キーワード再発行画面へ」からメールを再送信してください。

⑦正しいログインIDとキーワードを入力すると、下図のダイアログが表示されます。

「OK」をクリックします。



⑧ログイン画面が表示されるので、IDと③で設定したパスワードを入力してログインします。

※ログインパスワードの入力を一定回数誤った場合、アカウントロックします。
その場合は、教職員支援機構へ御連絡ください。

⑨ 登録システムのポータル画面が表示され、初回ログインが完了となります。

※ログイン後の詳しい操作方法等は、ポータル画面右上にある「ユーザー名」→「マニュアル」の順でクリック、ダウンロードして御一読ください。

研修名	2022年度_マニュアル用	推薦機関名	北海道
開催名	開催期日	受講定員	開催場所
2022年度_マニュアル用	2022年03月10日(木)~2022年04月04日(月)	140	研修センター
2022年度_マニュアル用終了済	2022年01月01日(土)~2022年02月15日(火)	140	研修センター
2022年度_マニュアル用開催期間中	2022年01月01日(土)~2022年02月28日(月)	140	研修センター
2022年度_課題状況テスト用	2022年01月01日(土)~2022年02月28日(月)	140	研修センター
2022年度_課題状況テスト用2	2022年01月01日(土)~2022年02月28日(月)	140	研修センター
2022年度_マニュアル用2	2022年01月01日(土)~2022年04月04日(月)	140	研修センター
2022年度_講座テスト	2022年01月01日(土)~2022年04月04日(月)	140	研修センター
2022年度_研修施設テスト	2022年03月01日(火)~2022年03月04日(金)	100	研修センター
2022年度_マニュアル用3	2022年01月01日(土)~2022年04月04日(月)	140	研修センター

⑩次回ログインは、当機構 Web ページ内（TOP ページ＞研修担当の方＞受講者推薦）のログインページ（<https://jigyo.nits.go.jp/jgweb/InitPLogin>）からお願いします。

トップページ

機構について | アクセス | お問い合わせ | English | サイト内検索

独立行政法人教職員支援機構

研修・セミナー | オンライン講座 | 支援事業 | 調査研究 | 教員免許 | 情報提供

教職員の学び応援ページ
～教職員支援コンテンツ特設ページ～

① 研修を受ける方 | ② 研修を修了した方 | ③ **研修担当の方** | ④ 施設を利用したい方

研修担当の方

現在地点: top > 研修担当の方

研修担当の方

研修担当の方へ、研修支援のための研修プログラム開発支援事業などの情報を提供しています。

受講者推薦

各都道府県・指定都市教育委員会は、当該推薦者及び中核市教育委員会の推薦者を取りまとめ、通知したID・パスワードでログインして推薦を行ってください。
国立大学法人及び独立行政法人国立青少年教育振興機構、私立学校、教職大学院は、推薦者取りまとめ後、推薦名簿を当機構ホームページよりダウンロードし、教職員支援機構宛に送信してください。

【お知らせ】受講者推薦数の変更について

課題提出

レポートなどの事前課題の提出が必要な研修があります。詳細は研修の実施要領をご確認ください。なお、ログインにはIDとパスワードが必要となります。

研修アンケート

サポートナビ

- ① 研修を受ける方
- ② 研修を修了した方
- ③ **研修担当の方**
- ④ 施設を利用したい方

3. 研修受講者推薦画面の入力項目について

(2. ⑨ポータル画面中央の受講者列の各「編集」ボタンをクリックしてください。)

○都道府県市

○氏名 → 姓と名の間に全角スペース (1文字分)を入力してください。

○フリガナ → 全角カタカナで入力し、姓と名の間に全角スペース (1文字分)を入れてください。

○年齢 → 令和5年3月31日現在で入力してください。

○性別 → タブから選択してください。

○所属名称 → △△市立△△小学校、△△県教育委員会 等 正式名称を入力してください。

○職名1 → 指導主事、校長、教頭、教諭、事務職員 等 タブから選択してください。
選択項目に選択項目に該当がない場合は「その他」を選択し、職名2に職名を手入力してください。(例：職名1「その他」、職名2「主任指導主事、研修主事、総括教諭」等)

○職名2 → 職名1で「その他」以外を選択した場合は、職名1の情報が自動入力されますが、具体的な職名を入力することも可能です。(例：職名1「事務職員」、職名2「事務長」等)

○郵便番号 → 半角数字でハイフンを含めて入力してください。

○住所 → 都道府県を含めて入力してください。

○所属機関種別 → タブから選択してください。

○電話番号

○担当教科

○教職歴 → 勤務経験年数を入力(令和5年3月31日現在)

○経費負担区分 → 公費、参加者個人またはその他具体的に入力

○郵便番号

○住所

○請求書送付所属先 → 参加者個人が負担する場合は、所属先に送付するため入力不要

○担当者

○請求書宛名 → 例年、請求書宛名の修正依頼があるため、会計担当者に確認の上、入力

○備考 → 特記事項がある場合は、この欄に入力してください。
無い場合は「無」と入力してください。

※各項目の入力に当たっては、「(様式1) 推薦名簿」及びその記入例も参考にしてください。

※外字については「●」を入力し、該当の文字をPDFファイル等で機構担当者宛(sangyou@ml.nits.go.jp)メールにて御連絡願います。